

2016/3/5

日本技術士会富山県支部 第24回講演会

ホテルグランテラス富山

富山県富山土木センター 山中久生

技術士(建設部門)

「富山大橋の秘密を探る旅」

秘密1 富山大橋小史

- 明治42年(1909)4月14日 神通新大橋開通式(青木家渡り初め)
大正5年(1916)11月 橋上を路面電車が走行しはじめる
昭和11年(1936)4月13日 富山大橋渡橋式(またも、青木家渡り初め)
富山大橋の設計の中心的人物:小池啓吉氏
昭和20年(1945)8月2日 富山大空襲を受けるも落橋せず
昭和31年(1956)7月29日 上東中学校臨海バス転落事故
昭和44年(1969)7月2日 富山大橋橋脚沈下
平成24年(2012)3月24日 新富山大橋竣工式(寺田家渡り初め)
平成27年(2015)3月20日 富山大橋撤去完了

*富山大橋・・・「日本の近代土木遺産ー現存する重要な土木構造物2800選ー」では
ランクC(国の登録有形文化財や区市町村指定文化財に相当)

秘密2 富山大橋を取り壊して分かったこと

- ・神通新大橋の橋脚基礎(木杭)が出てきた
- ・床版コンクリートが上フランジの下に挟まっている
- ・P2~P3間の上部工にコンクリートの錘が出てきた
- ・昭和11年のコンクリートはゲージツ的
- ・杭基礎と橋脚躯体が、鉄道レールで結合されていた
- ・ぴかぴかローラー(鋳鋼製、富山市郷土博物館に寄贈)
- ・残されていたコンクリート、鋼材について、各種試験を実施(富山県立大学環境工学科伊藤准教授「地(知)の拠点整備事業」により、学生が自主的に地域の課題に取り組む)
⇒コンクリートの継続的な長期調査ができないか

新富山大橋のよいところをPR

- ・「全建賞」を受賞
 - ・「2014年度土木学会デザイン賞 奨励賞」を受賞
- 桁下からの見上げがよい
⇒他の賞に挑戦している。

秘密 3 富山大橋架替記念事業

- ・平成 22 年～25 年 富山大橋架替記念事業検討会
- ・全国的にはわずかに事例があるが、県が主体的に取り組むのは珍しい。
 - H24.8.1 富山大橋を栈敷席として、花火大会を鑑賞
 - H24.8.26 渡り納め式
 - ・・・などなど、多数イベントを実施
- ・6 年間にわたる、継続的な小学生勉強会 ⇒ 後輩達が高欄清掃を継続
- ・当時と同じ位置に、富山大橋を再現したポケットパークを設置

- ・富山大橋に関する書籍・文献、新聞記事リストを作成(ホームページ公開中)
- ・小学生向け歴史の本「富山大橋の秘密を探る旅」を作成(各種図書館に寄贈)
- ・「富山大橋」(歴史、技術資料など)を作成中

私見 今後の土木事業のあり方

- ・景観・土木遺産を活用した、歩きたくなるまちづくり
 - * 「一歩」歩いて、0.061 円(～0.0014 円)の医療費削減効果
- ・土木施設を愛してくれる雰囲気づくり・人づくり
 - * 「千住大橋の長寿を祝う会」(主催：東京国道事務所)
 - 千住大橋＝現存する最古のブレースドリブタイドアーチ橋、
ランク A (国指定重要文化財に相当)
⇒地元の方々による清掃活動(ボランティアサポートプログラム)
 - * 富山大橋ポケットパーク完成式での「小学生宣言」

富山大橋の秘密

で検索

「富山大橋の秘密を探る旅」

富山大橋 リスト

で検索

富山大橋に関する書籍・文献、新聞記事リストの紹介